

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

パーパス

「家族の幸せ」と「個人の幸せ」が寄り添える社会へ。幼児教育から総合パーソナルケアサービスへ進化。

新規事業の位置づけ
2030年3月期目標時期

② 中長期の経営戦略

1. 事業領域の再定義

国内教育領域、国際教育領域、産後ケア領域、ファミリーサポート領域の4領域を編成。既存事業の安定運営と新規事業の展開を並行。

3. 産後ケア領域の開業

2026年6月～8月の開業を目指し準備を本格化。富裕層向けプレミアム教育サービスで培ったハイクオリティを実現。

2. 国際教育領域の拡大

グローバルスクール3園の充足率向上。2024年夏開始の海外留学支援を英国、スイス、ハワイの3か所に拡大。海外保育園のM&A検討も進行中。

4. 株主還元の実施

2025年3月期より配当開始、2026年3月期より株主優待制度を開始。既存事業の黒字化と営業利益改善を背景に実施。

③ 対処すべき課題

① 人材確保と労働環境整備

- ・ 保育士資格等を有する優秀な人材の確保が不可欠
- ・ 給与改善、人事評価制度構築、本部運営機能強化で働きやすい環境づくり
- ・ 安全管理体制の強化、働き方改革の推進

② サービス質と安全性の向上

- ・ 専門家集団との連携構築とKID'S PREP.PROGRAM等の導入
- ・ 教育研修制度の充実
- ・ 不適切保育撲滅委員会等による園運営監査の実施

③ コンプライアンスと法令遵守

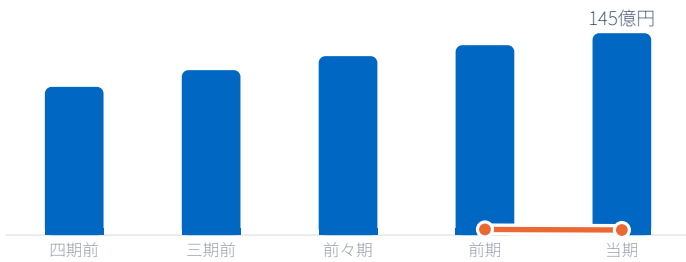
- ・ 児童福祉法等関連法令の遵守が事業継続の前提
- ・ 個人情報管理と保護の徹底
- ・ 社内管理体制の整備と全職員の研修推進

面接で使えるポイント

- ・ 幼児教育から総合パーソナルケアサービスへ事業転換。新パーパス「家族と個人の幸せ」の実現に向けた取組が評価される企業。
- ・ グローバルスクール3園で英国、スイス、ハワイの海外留学支援も展開。国際教育領域での急速な事業拡大が特徴。
- ・ 2030年3月期に新規事業が収益の柱になることを目指す。成長フェーズで高い財務安全性を保ちながら配当開始した成熟経営企業…

証券コード 7084

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
東京都品川区に本社を置く、保育・幼児教育を軸とした総合パーソナルケアサービス企業

主力事業・セグメント

- ・サービス業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・－（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
145億円

営業利益率
2.5%

財務健康度
25点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 44.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
－（未開示）

平均年齢
50.5歳
サービス業内 16位/527社

平均勤続
1.5年
サービス業内 525位/527社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

